

青森西高等学校の女性職員用休憩室が拡充され、マザーズルームおよびリフレッシュスペースとして活用されています



休憩室内にパーテーションで区切られたマザーズエリアを新設



休憩室としての機能も拡充



当共済組合の「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」を活用し、青森県の青森西高等学校の女性職員用休憩室が拡充され、令和5年9月25日からリニューアル後の使用が開始されました。

同校では、約700名の生徒を支えるために、約60名の教職員が勤務しています。

今回、当共済組合の事業を活用することで、出産休暇や育児休業明けの教職員が搾乳等を行うためのスペースが整備され、休憩室をマザーズルームとしても使用できるようになりました。併せて、女性職員の健康維持や健康回復に貢献できるようにリフレッシュスペース・休憩室としての機能も拡充しました。

休憩室のリニューアルに向けて実施した職員アンケートでは、「育児休業から復職してどこで搾乳すればいいのかと思っていた」という声もあり、マザーズルームとしての活用が期待されています。

また、利用した職員からは、「ソファ等が設置されて、以前よりも落ち着いて休めるようになった」という感想をいただき、心身のリフレッシュにも貢献しています。